



# 善正寺だより

掲示板法話

## 念仏申さんと思い立つ心の起こる時 人間の生活がはじまる

新しい年が始まったかと思つている間に、早くも二月となりました。一月は行く、二月は逃げる、三月は去る、……。年齢を重ねるにつれ、そんな感覚に陥りがちですが、旧友の訃報などを聞くにつけ、生かされているこのいのちの重み、かけがえのなさを感じさせられます。

米国の新大統領・トランプ氏は荒々しい言葉を発信してトランプ現象を演出します。とくに、ツイッターでのつぶやきはソーシャル・ネットワーク・システム(SNS)を通じて短絡的で偏った情報を拡散させ、一方的な方向に煽動する恐ろしさを見せつけました。日本でも昨年「保育園落ちた、日本死ね」という母親のツイッターが拡散し、国会審議にも取り上げられる騒ぎになりましたが、一方では保育園の建設が頓挫してエゴイズムの衝突が繰り返されます。

現代はどこまでも欲望が無限に肯定される時代。ネットで何かを注文すると翌日にはすぐ届けられる宅急便のサービスシステムは、効率的で便利な仕組みです。しかし、配達された時



に受け取り手が居なければ何回でも配達に駆けまわらなければならぬ。年末年始などの期間に生鮮品などの保管期間が過ぎると、廃棄されて同じ商品を再び調達して配達するという、もったいないような過剰サービスが繰り返されるのだそうです。

便利で快適さを求めて、どこまでも自分だけの欲望を膨らませる文明は、感謝する心を忘れさせ、感動を失う。自分だけの幸せが優先され、他人とのつながりが切れていく。なまじっか一人でも生きられる便利な文明装置ができたために、「誰にも迷惑かけられない」と孤独地獄に自ら陥ってしまう。そんな困った非人間的な社会に向かつているようです。

翻つて、「ありがとう、おかげさまで」と言える生活に孤独はありません。「どれほど行き詰まりを体験しようとも、その全てを、その全てを受け止めながら生きていける道。それが念仏の生活である」と力強い言葉を某先輩住職さんから聞きました。

「念仏申さんと思い立つ心の起こる時、人間の生活がはじまる」。人間

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:0593-31-1670  
☎:0593-32-0733

### ☆行事ご案内☆

## ☆2月の門信徒会例会

### 2月19日(日)夜7時半

- ①三重組・十三日講について；歴史と意義  
大坂・石山攻防戦後に結成された伝統を振り返ると共に、厳しい時代を生き抜く道を語り合います。
- ②十三日講の準備や当日の役割などご相談します。

◇絵手紙教室 2月14日(火)午前10時 18回目川崎光子先生「下手でいい、下手がいい！」どなたでもご自由にご参加を！

◇キッズサンガ 2月4日(土)4時、鐘つき夕方5時年中無休、

◇三重組コーラス 2/20午後1時、西勝寺様で練習、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。

毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設8年6カ月で22万7千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎！即返信

◇一縁会テレホン法話：059・354・1454お電話を！

### ◇予告

※『三重組十三日講』3月13日午前・午後、講師：杵築宏典先生(兵庫)10年ぶりにお迎えする三重組主催の大行事。門信徒一丸となってお迎えしましょう。

※3月18(土)19(日)『春季永代経』午後1時半、(夜の法座はありません)講師：稲葉芳道先生(奈良・吉野)お参りが続く一週間です。お誘い合わせてお参り下さい。

※3月20日(月)夜7時、三全仏教婦人会総会(善正寺にて)

◇新納骨堂：後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事の場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

### 写真アラカルト：年末年始の風景



2017.01.01 07:49



2019.01.10 12:02

らしい生き方に立ち返ろう。お念仏申すご縁は私たちにそんな力を呼び覚ましてくれるのです。

写真上から  
新年の善正寺  
元旦記念撮影  
元気な子供達



干支茶碗

陶芸家・堀野氏作

### 坊守スケッチ

## 『終活』は「断捨離」だけではない

今年友人から届いた年賀状に「そろそろ終活を考える年代になりました」と書いてありました。

一般的に「シウカツ」とは就職活動のことですが、ここでは人生の終わりを自分で準備するための『終活』です。介護や終末医療の方針、財産や形見の品の整理、遺言状の作成、葬儀の仕方、不要品の処分などです。勿論これらも大事です。60代から70代のシニア約74%が、終活に前向きです。その最大理由は、家族に迷惑を掛けたくないから。

超高齢化社会を迎え、一体何歳まで生きられるのか？年金だけで介護費用は賄えるのか？寝たきりになったら誰が世話をしてくれるのか？考えたら不安材料ばかりです

正直なところ家族には絶対迷惑を掛けたくないが、国が何とかしてくれるというのが本音のようです。しかし政府の赤字財政を思うと、満足のいく老人福祉は期待できません。要は、老いを迎えるために、平生からの健康管理と心の準備が必要ではないでしょうか？

シニア世代の約6割の人が「残された人生でやり残したことがある」と答えました。内容は旅行や趣味などの楽しみ。それ以外に「子供の結婚」や「孫の成長を見届けたい」という次世代への心配事でした。迷惑はかけたくないが、子や孫の将来を思う気持ちは、親として当

然のことかもしれません。

毎日新聞の投稿で今年米寿の男性が「教職を退いて28年。悠々自適を夢見ていたが、晴耕雨読すら叶わず、まもなく卒寿を迎える。これからは日々挑戦して、後世に伝えるべきことを一つ一つこなしていくことが、私に似合った『終活』だと思ふ」と書いていました。

『終活』とは、自分の生きた証の始末をつけるというマイナス思考(断捨離)ではなく、自分が歩んできた人生で、学んだ事を後世にしっかりと伝えるというプラス思考ではないでしょうか？

目に見えるモノの整理や処分ではなく、目に見えない『親心』を伝えることこそ、シニア世代に残された最後の仕事だと思えます。

### 寄稿

四日市市 釋清風

鈴鹿山 茜あかねに染めて 初氷

お年玉 揃え供えて 孫を待つ

去年逢ひし旧友想はるる 年初かな

初春や 願いの中に 晴れ姿

寒中に 咲くといえども 凜りんとして

カンパありがとう!

天花寺建司様、澤田美智江様、盛野佳子様、松岡愛子様、桃井雅子様、他特命様3名より頂戴致しました。感謝申し上げます。合掌。

### ☆若院夫婦の『育自な毎日』その27

まだ正月気分も抜けきませんが、今年も頑張って投稿いたします。

三月に五歳の誕生日を迎える長男は、最近沢山のアンテナを伸ばして情報収集が活発です。ひらがな、カタカナ、アルファベット、足し算・等。大人の会話も耳ざとく、ニュースなどを見ていても「何でなん?」「これどういう意味?」と質問攻めで、時々答えに窮します。

また身体的な成長も著しく、どちらかと言えば食の細い子ですが、最近よく食べて、作りがいがあります。年中さんになってから身長が六センチも伸びて驚きました。おかげで昨年冬のズボンほとんど寸足らず。嬉しい悲鳴を上げながら新調しました。

登園前には出勤前の父親と同時に着替えるのが習慣。父親がワイシャツを着ればブラウスを着て、ネクタイを締めればリボンを着ける。一所懸命に大人の真似をしている姿が面白くて私達を和ませてくれます。

「もう五歳」、いや「まだ五歳」。甘えん坊で母ちゃんの膝の上でくつろぐのが好きな長男には、「まだ五歳」の方がお似合いです。

皆様にお育てを頂きながら、親子共に成長していかなばと思えます。今年もよろしく愛読下さいませ。(若坊守)



### ホットニュース

◇1月16日(月)西本願寺報恩講に、三重組十三日講の初講(三月十三日)会所寺院として総代・世話方様十一名で参拝させて頂きました。

◇5月11日(木)京都西本願寺『伝灯奉告法要』のバス団体参拝。おかげさまで募集定員40名達成。詳細は近づきましたらご連絡申し上げます

◇3月13日(月)午前・午後『三重組十三日講』善正寺で初講を勤めます。十年に一度の貴重な機会です。お誘い合わせてお参り下さいませ。

◇3月18(土)19(日)いずれも午後1時半『春季永代経』講師は稲葉芳道先生(奈良・吉野)、夜の法座はありません。2回目のご出講。お参りが続く一週間です。お楽しみに!

◇3月20日(月)夜7時三全仏教婦人会総会(善正寺にて開催)

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第278号をお届けします。◇暖冬から一転、厳しい寒波襲来、皆さん難儀されたことでしょう。◇それ以上に、米国の新大統領トランプ氏の異常な言動に驚くことばかり。選挙へのロシアの介入も信じ難いこと。世界が修羅場になってきた感が深い。◇だが、その間にも我が人生の時間が短くなってゆく。だから愈々「どれ程行き詰まりを体験しよう、全てを受け止めながら生きていける道、それが念仏の生活」との至言に頷かされる。遇えてよかった念仏の道!合掌。

立春將近といふのに寒さが本格化。お元気ですか？午前3時頃、新聞配達の声がします。真暗で凍えるような早朝でも配達して下さいます。そのご苦勞に感謝せずにはおれません。世の中に当たり前のことは何一つありません。「金を払う客に届けるのは、仕事だから当然」と思うのは横着過ぎ。立場が逆転した時、あなたがそう受け取られても仕方ありません。「保育園落ちた。日本死ね」という母親かいる一方で、「保育園は近所迷惑、建設反対」と叫ぶ人々もいます。「除夜の鐘がうるさい」とか、「餅つきは不衛生で食中毒が心配」と反対する人々もいます。長年続いてきた伝統行事すら存続の危機です。日本人の思いやりや優しさはどこへ行ったのでしょうか？何時頃からこんなにも心が貧しくなったのでしょうか？もし善正寺へ鐘は騒音と文句を言うてくる人がいたら、50年続く歴史と意味を詳しくお話するつもりです。日本は物質的には豊かになったけれども心の教育を置き去りにしてきたように思います。お互いの価値観の違いを尊重し合うところから良好な関係が生まれます。トランプ大統領のように、声高に自分の利益を優先させる人が多くなり、この先世界はどちらに向かうのか危惧しています。不安で不透明な時代ですが、お念仏で結ばれたご縁はより一層確かなものにしたと願っております。寒さ厳しき折、くれぐれもご自愛下さいませ。合掌

平成二十九年二月

善正寺坊守拝